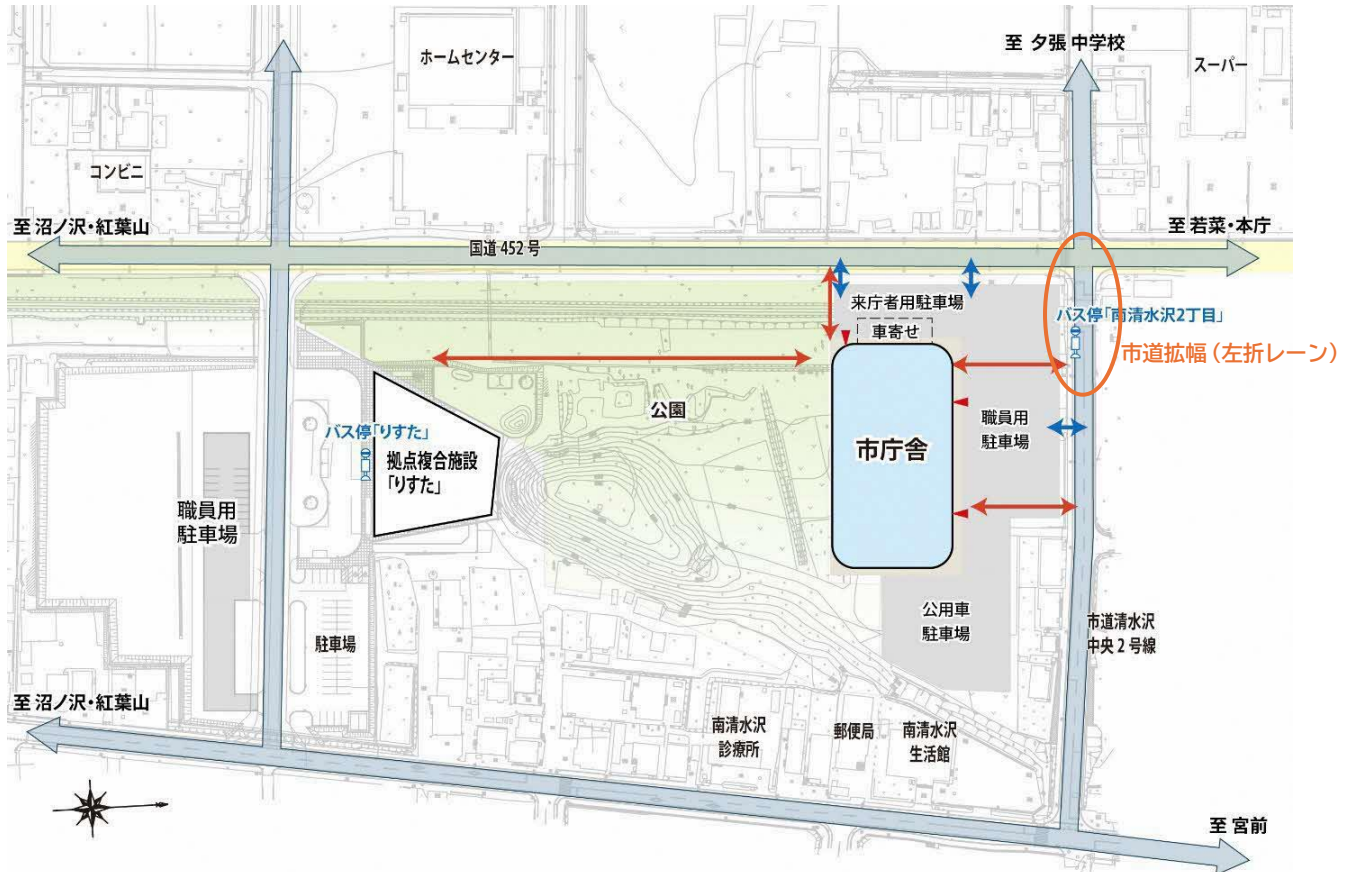


別紙 6_土地利用計画図及び公園計画の考え方について

■土地利用計画図



■公園計画の考え方について

本資料は、新庁舎の配置等の検討にあたっての参考とするため、現時点における公園整備の基本的な考え方について示すものである。

また、本公園は、清水沢地区における都市公園の再編により、既存公園の機能を統合・集約して新たに整備することを想定している。

なお、本計画は、市が別途実施する公園整備に係る設計業務等の検討により、今後変更となる場合がある。

1. 公園の役割

「夕張市緑・公園づくり基本構想(令和5年3月)」の考え方を踏まえ、本公園の役割を以下のとおりとする。

(1) 多世代が集える市民の新たな憩いの場

- ・多世代交流の促進
- ・レクリエーション機能の充実

(2) 都市機能の強化に資する拠点

- ・新庁舎及び拠点複合施設「りすた」との連携による地域交流機能の向上
- ・災害時における一時避難や支援活動を支える防災機能の確保

(3) 地域の魅力向上に寄与する空間

- ・地域特性を活かした魅力ある公園空間の形成
- ・にぎわい創出への寄与

(4) 環境配慮・持続可能性への対応

- ・ゼロカーボン社会の実現に資する整備(再生可能エネルギーの活用、緑化によるCO₂吸収等)
- ・持続可能な維持管理・運営を見据えた計画

2. 公園の配置の考え方

- ・隣接する新庁舎と、拠点複合施設「りすた」との一体的な利用を促し、にぎわいを創出できる配置とする。
- ・歩行者動線を重視し、周辺施設との回遊性及びアクセス性の向上を図る。
- ・周辺環境との調和に配慮するとともに、安全性・視認性を確保した配置計画とする。

3. 公園計画の方向性

(1) 多世代交流・レクリエーション

- ・誰もが利用できるインクルーシブ遊具の設置、ウォーキング等に利用可能な散策路を配置する。
- ・地域行事、イベント、スポーツ等に対応可能な多目的広場を整備する。
- ・公園内の地形を活用した築山を整備し、多様な遊びや利用に配慮する。また、道路への飛び出し防止及び見通し確保に留意した高さ設定とする。

(2) 防災機能

- ・災害時の一次避難場所として活用できる空間を確保する。
- ・防災備蓄倉庫等を配置し、支援活動の拠点機能を担う計画とする。
- ・広場等は防災利用(避難・物資集積等)を想定する。

(3) 環境配慮・持続可能性

- ・再生可能エネルギーの活用(例:太陽光発電設備等)について検討する。
- ・植栽等によりCO₂吸収機能の向上を図る。

(4) 利便性・安全性・維持管理

- ・新庁舎及び「りすた」との連携利用を想定し、ベンチ、テーブル、東屋、水飲み場等を適切に配置する。
- ・公園周辺の状況に応じて外柵等を設け、安全性を確保する。
- ・市民や地域団体が関与しやすい維持管理を見据えた計画とする。

(5) 駐車場

- ・本公園単独の駐車場は整備するが、周辺施設との連携利用を基本とする。

以上